

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和2年度第1回入間市立図書館協議会
開 催 日 時	令和2年10月1日(木) 14時00分 開会 ・ 16時00分 閉会
開 催 場 所	入間市産業文化センターB棟3階 教育センター 研修室
議 長 氏 名	会長 清水 繁
出席委員(者)氏名	清水繁、大竹千里、野崎皓布、森谷秀一、秋元きみ江、浅地由紀子 板橋純子、青山衣津子、芳賀隆夫
欠席委員(者)氏名	吉田穂高
説明者の職氏名	次長(館長)片寄貴之、主幹 萩原智明、副主幹 渡部慎一郎、 副主幹 松下麗比奈、西武分館長 柿原秀行、金子分館長 深野和 彦、藤沢分館長 岡田希
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 図書館協議会の所掌事務について説明 3 会長及び副会長の選出 4 会長及び副会長あいさつ 5 報告事項 (1) 令和元年度図書館利用状況について (2) 令和元年度社会教育施設アクションプランについて (3) 令和2年度社会教育施設アクションプランについて (4) 令和2年度事業について (5) 図書館資料有料宅配サービスについて 6 その他 7 閉 会 (すべて公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	・次第(P1) ・入間市立図書館協議会委員名簿(P2) ・職員名簿(P3) ・図書館協議会の所掌事務と運営について(P4～5) ・令和元年度図書館利用状況について(P6～10) ・令和元年度社会教育施設アクションプラン(P11～22) ・令和2年度社会教育施設アクションプラン(P23～25) ・図書館資料有料宅配サービスについて(P26) ・令和元年度図書館統計資料 ・令和2年度図書館要覧 ・図書館だより(令和2年1月号、4月号、7月号、10月号) ・令和2年度入間市の教育 ・令和2年度入間市の教育(資料編)
事務局職員職氏名	教育部長 新見輝明、教育部次長(館長)片寄貴之、 主幹 萩原智明、副主幹 渡部慎一郎、副主幹 松下麗比奈、 主査 安藤良成、主任 原めぐみ、主任 田中麻里

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項

1. 開会

2. 図書館協議会の所管事務について説明

委員10名のうち5名が新任であるため、図書館協議会の所管事務について資料（P4～5）に基づき説明を行った。

3. 会長及び副会長の選出

立候補、委員による推薦はなし。委員の互選により、つぎのとおり会長及び副会長が選出された。

会長 清水 繁
副会長 大竹 千里

4. 会長および副会長あいさつ

5. 報告事項

- (1) 令和元年度図書館利用状況について
渡部副主幹より報告
- (2) 令和元年度社会教育施設アクションプランについて
渡部副主幹より報告
- (3) 令和2年度社会教育施設アクションプランについて
渡部副主幹より報告
- (4) 令和2年度事業について
松下副主幹、各分館長より報告。
- (3) 図書館資料有料宅配サービスについて
萩原主幹より説明

6. その他

7. 閉会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
渡部副主幹	<p>報告事項 (1) 令和元年度図書館利用状況について (資料に基づき概要を報告) 利用状況はコロナの状況下で格段に減少しており、立て直しが課題となっています。 資料数は傷んだ資料の除籍と新たな資料の購入を経て、1年に5,000点程増加していつている状況です。</p>
森谷委員	<p>P6の入館者数はどのようにカウントされているのか教えてください。 P7の利用者数との違いも教えてください。</p>
渡部副主幹	<p>入館者数は館内入り口にセンサーがあり、センサーによるカウント数です。利用者数は、実際に貸出をした人数となり、図書館システムによりカウントされた数です。</p>
芳賀委員	<p>この入館者数が多いのか少ないのか、私にはよくわからないのですが、他自治体と比べていかがでしょうか。</p>
渡部副主幹	<p>他自治体との比較はしておらず、多いか少ないかというのは前年度との対比によるものしか指標がないのですが、ここに来て急に減っているなど感じています。</p>
芳賀委員	<p>他自治体の図書館の規模やサービスなどでかなり違ってくるかとは思いますが、ある程度他の図書館と比較することで減少の理由などのヒントが得られないかなと思います。</p>
片寄次長	<p>おっしゃるとおり、他市と比較することで、私たちの良かった点そうでない点などが見えてくると思います。入間市についてはダイア5市で様々な連携をとっていますので、人数的なもの、館数などを比較させていただき、皆さま方に提示をし、またご意見をいただけたらと思います。</p>
渡部副主幹	<p>(2) 令和元年度社会教育施設アクションプランについて (資料に基づき概要を報告)</p>
森谷委員	<p>外部評価は委員のひとりひとりの評価の平均であるとのことでしたが、自己評価の事業評価点数は何人で評価したものですか。外部評価が小数点以下での評価であるのに対し、整数値での評価になるのはなぜでしょうか。</p>
渡部副主幹	<p>事業評価点数は、目標に対する達成率により20%ごとの区切りで機械的に評価をしているものです。</p>
森谷委員	<p>ずっと前からこのような評価の仕方をしているのですか。</p>
渡部副主幹	<p>以前は、各担当者が主観的な反省点も込めた評価をしていましたが、どなたでもわかりやすいように、昨年度からこのような評価に改めております。</p>
片寄次長	<p>今回、このような数字での評価とさせていただいておりますが、本来は目</p>

	<p>標を立てそれに対し結果がどうだったか、ということを図書館として自己評価をさせていただいているものです。本の購入目標などは、予算的にも圧縮されてしまい本来の目標に至らないこともございます。数字的なもので区切るだけではなく、最終的な部分で多少抽象的なこともございますので、ご了承いただければと思います。</p>
野崎委員	<p>P18「1. 図書館見学」の狭山小の不参加について、図書館側からは是正のアプローチはしているのでしょうか。</p> <p>私もこちらの小学校の方とは個人的に話をしていますが、6年ほど前にあるきっかけがありやらなくなってしまったと聞いています。私見ですが、その後の校長先生が中学校教員だった方がずっと続いていて、「図書館見学」について「家庭・地域の教育力の向上」の一環だという認識がなかったように思います。小学校としては持ち込みの行事がとても多く、常に行事を減らそうというスタンスで物事を考えているので、そんなときに落ちてしまったのだと思います。今後も個人として、校長先生とお話を続けていこうと考えています。</p>
片寄次長	<p>狭山小1校のみ未実施ということは図書館としても寂しく思っています。事業に参加していただけるよう、今後も積極的に働きかけてまいります。</p>
渡部副主幹	<p>(3) 令和2年度社会教育施設アクションプランについて (資料に基づき概要を報告)</p> <p>目標値については年度当初に立てたもので、コロナ禍による行事の中止などは加味されておりません。</p>
板橋委員	<p>「ダイア4市」、「ダイア5市」の意味がわからないので、教えてください。</p>
片寄次長	<p>当初は所沢・飯能・狭山・入間の4市で「ダイア4市」と呼んでいました。そこに日高市が加わり5市となり、自治体間でさまざまな連携を取りながら事務をしています。図書館でも相互利用のサービスを行っています。</p>
板橋委員	<p>「コミュニティFM放送」の内容について、具体的に説明をお願いします。</p>
松下副主幹	<p>この地域のコミュニティーラジオ局である「チャッピー」の番組に出演をさせていただいており、そこで図書館の紹介をしております。具体的には「くらししい」という番組がございまして、そのなかで毎週木曜日のお昼に本の紹介や図書館の事業の案内などをさせていただいております。</p>
板橋委員	<p>知りませんでした。ありがとうございました。</p>
芳賀委員	<p>相互利用については、私もときどき利用させていただいております。利用者にとってはありがたい仕組みなので、拡大していただければと思います。</p> <p>そのことに関連してですが、5市の図書館の休館日がどこも月曜日なので、休館日を少し変えてもらいたいと思います。勉強したい学生たちなどはどこも行くところがありません。まず市内4館だけでも、休館日をずらしてみたいかがでしょうか。</p>

片寄次長	<p>確かに図書館・博物館等は月曜日が休みで、休みが固定されていることで周知できている反面、施設が一律に利用できないというのが問題なのかと思います。</p> <p>ただ、システムと繋がっている関係で、ひとつの施設だけでも開館していることでシステムを常に稼働しなければならないというような問題もあり、一斉に休館させて頂いているのが現状でございます。また、現実的には勤務の問題もあり、難しいところもあるかと思えます。一方で、ダイア5市間の連携については、定期的に会議をしていますので、そういった場でお話させていただき検討させていただければと思います。</p>
芳賀委員	<p>同じ自治体間ではシステムの問題で難しく、やむを得ない部分もあるかと思えます。入間市と他市とで交互に利用できれば、利用者側からするともっと利用しやすくなるのかなと思えます。</p> <p>高校生などは、受験直前に大変苦勞しているという話も聞きますので、是非検討していただければと思います。</p>
森谷委員	<p>本館の人が分館に行って運営の仕方を見たり、お互いの良いところを見つけて真似をするということは非常に役に立つことだと思いますが、P24「指定管理者の実地調査（モニタリング）を実施」というのはどういった意味で行っているのですか。</p>
片寄次長	<p>指定管理というかたちでお願いをしており、行政として必ずやっていただきたいことを仕様書どおり出来ているかということの確認が一点、それとおっしゃるように、民間会社の方から学ばせていただくことにより、サービスをさらに向上させていくことを目指しております。</p>
森谷委員	<p>そうすると実施回数が年に2回ですが、もう少し頻繁にやられた方が良いのではないですか。</p> <p>ただに単に法律どおり、条例どおりできているか監査するだけではなく、お互いに同じような業務をしているのですから、良いところはお互いに学びあう機会があった方が良くと思います。</p>
片寄次長	<p>おっしゃるとおりでございます。現在は、館運営会議というものを月に1回、各分館長・ヴィアックス本部の方と一緒に実施し、情報交換をさせていただいております。現地にも行かせていただき、より良いサービスが提供できるように努めていきたいと思えます。</p>
森谷委員	<p>会議だけではなくて、やはり現場を見た方が良くと思います。</p>
松下副主幹	<p>(4) 令和2年度事業について 本館の事業についてご報告申し上げます。</p> <p>「図書館要覧」P30以降に事業計画を載せているのですが、コロナウイルスの関係で、事業のほとんどが実施できていない状況です。今回はこちらに記載のないその他の事業や、今後実施予定の事業についてご報告いたします。</p> <p>3/14～5/25の期間は臨時休館をしておりましたが、その間も学童保育室への配本サービス（5, 257冊）、視覚障害者へのデージー図書の貸出等（94件）を行いました。</p> <p>9月までは子ども向けのおはなし会も中止していましたが、10月から感</p>

	<p>染予防対策をしっかりとしながら少しずつ再開する予定です。本館では現在おはなし会に代わる2つの事業を行っています。</p> <p>1つは「本を読んでフルーツパフェをつくろう」というイベントで、子どもが本を借りるごとにフルーツのシールを3枚渡して、台紙に貼ってもらいフルーツパフェを完成させようという事業です。台紙には読んだ本を記録する欄を設けて、読書記録としても活用できるようになっています。8～9月の期間で998名の参加がございました。</p> <p>もう1つが「おうちでおはなし会おたのしみセット」という事業で、読み聞かせに向く絵本を3冊セットにして、袋詰めの中身が分からないように貸し出すというものです。この中には本以外にも折り紙でつくった指人形や、おうちでおはなし会が楽しめるようにプログラム等も同封しています。9月には64セットの貸し出しがございました。要覧には載せることができなかった事業ですが、おはなし会の代わりとして、少しでも絵本に触れる機会をなくさないよう工夫をいたしました。</p> <p>今後の事業として、本館では10月から教育センターの「ひばり教室」の生徒さんをボランティアとして年間を通じて図書館で受け入れることを予定しています。具体的には、毎週水曜日の11時～12時の1時間、本の整理や本を棚に戻す作業、館内の装飾づくりなどをしてもらおうと思っています。図書館での作業を通じて、生徒さんの社会生活に役立ててもらえればと実施するものです。</p> <p>また、毎年図書館で除籍した本を入間万燈まつりや生涯学習フェスティバルで無料配布していたのですが、本年度はこれらの事業が中止となってしまいました。その代わりといたしまして、本館及び分館に本を自由にお持ち帰り頂けるコーナーを設置し、11/5から実施する予定です。</p>
<p>柿原西武分館長</p>	<p>西武分館では通常毎月、ご家族と参加できるような子ども向けの工作会の実施や、ウィークエンドシネマ、クリスマスコンサートなど、視聴覚室を利用した事業を行っています。しかし、どちらも今年度は4月から12月まではほとんどが中止になっています。</p> <p>おはなし会についても9月まで中止しておりましたが、10月から土曜日限り再開の予定です。</p> <p>このように子ども向け事業がかなり少なくなりましたので、夏休み以降は「お楽しみ袋」の配布を実施しています。</p> <p>今後の予定として、1月からはウィークエンドシネマを予約制に変更しての再開や、「西武寄席」などの各種事業を実施していこうと考えています。</p>
<p>深野金子分館長</p>	<p>金子分館では独自事業として24事業を計画しておりましたが、臨時休館となったために、12事業を中止しました。下半期の8事業は実施の予定です。</p> <p>通常開館後はおはなし会を再開しています。7月は対前年比60%、8月は113%、9月は80%の参加者でした。</p> <p>上半期で予定していた新規事業については、延期などをして今後実施する予定で作業を進めています。</p>
<p>岡田藤沢分館長</p>	<p>藤沢分館でも、コロナの関係で事業がほとんど実施できていない状況です。</p> <p>実施できた事業として、夏休みに公民館の部屋を借り「臨時学習室」を設置しました。残念ながら夏休みが2週間ということもあり、少人数の参加しか見込めませんでした。引き続き試験の時期には、小中高生向けに同事業を</p>

実施予定です。

おはなし会は通常時は大変好評で、平均20～30人と大勢の方が集まります。そのため、そのまま再開するのは難しいということで、10/17から公民館の部屋を借りて、人数制限をしながら再開をする予定です。軌道に乗るようでしたら、12月以降も月1～2回実施していこうと考えています。

今後の事業については二本柱で考えていて、ひとつは人を集めても公民館の広い部屋を借りてコロナ対策をきっちり行った上で実施するものと考えています。おはなし会以外では、昨年「子どものはじめての手話教室」が大変好評でしたので、今回は「親子で学ぼうはじめての手話」という事業を12月に予定しています。

もうひとつは、人を集めないで図書館に来て楽しんでいただくことで、絵本をカテゴライズして、3冊セットにして展示して借りていただくという企画を行いました。7月から実施し昨日までで690冊の貸出がありました。今後も引き続き展示を行い、貸出を増やせるよう考えています。

また、10/31には「ふじさわ未来ネット」に協力し、地域の子どもたちと一緒に何かイベントをやろうということで「FUJISAWA HALLOWEEN」というイベントにも図書館として参加する予定です。

(質疑等なし)

萩原主幹

(5) 図書館資料有料宅配サービスについて

(資料P26に基づき概要を説明)

新しい事業ですので、実際の実施状況をみながら軌道修正をしていきたいと考えております。

(質疑等なし)

渡部副主幹

その他

次回会議は12月24日(木)を予定しておりますので、よろしくお願いします。

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

2020年11月3日

議長 の 署名

清水 繁

